

令和5年度府中市立矢崎小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

「全国学力・学習状況調査」質問紙調査の結果から、本校の児童は「わかる」「好き」の割合が都平均よりも低い。また「自分の考えをまとめること」など、自ら考えることを苦手と感じている。「自分と違う意見について考えること」「互いの意見のよさを生かして解決方法を決めること」など対話することで学び合う学習に課題が見られる。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

「全国学力・学習状況調査」などの結果から、「わかる」「好き」の割合を増やす。「できるようになるまで練習すること」「学習方法を考えてから始めること」学習の見通しをもたせて指導する。また「考えたことを積極的に伝えること」「意見がちがったときは相手の考えを確かめること」など対話して考えを深めるよさを取り入れた授業を展開する。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

学校教育目標「学び考える力」「思いやる心」「明るく元気」の中で、「学び考える力」を重点目標とする。必要な情報を活用して論理的に考え、主体的に問題の解決に向けて取り組む児童の育成に取り組む。「主体的・対話的に学ぶ児童の育成」を研究テーマとして、低・中・高学年、それぞれが目指す児童像を具体的に定めた。

(2) 目指す授業像

学習のゴールをイメージして、単元計画を立てるようにする。単元全体を通して、児童に身に付けさせたい力を、具体的に考えてから授業計画を考えるようにする。授業の中で、「できた・わかった」を大切にし、学ぶ楽しさを味わわせる。自力解決する時間を確保し、自分の考えをもって対話することができるようになる。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	「読むこと」の説明的な文章においては、目的を意識して、文章の構造や内容を基に、必要な情報を見付ける学習を展開する。	音楽	曲の特徴を理解し、理解したことを生かして音楽表現に対する自分の考えをもち、その考えを実現するために必要な技能を身に付ける授業を展開する。
算数	日常生活と関連させ意欲を引き出し、児童自ら学習課題を見出すことで探究的な学習を進め、他者との対話を通して学びを深めさせていく。	図画工作	様々な表現技法にそのよさを味わいながら取り組み、自身の作品を制作する上で、よりよい表現ができるよう技能向上に取り組ませる。
社会	単元を通じた学習問題を児童の言葉から設定し、問題解決的な学習を展開して児童の興味・関心を生かして探究活動を主とする学習を展開する。	家庭	家族や衣食住、消費や環境などについての知識や技能を身に付け、日常生活からよりよく生活するための解決策を考えさせる授業を展開する。
理科	学習の見通しをもち、予想を基に観察・実験をする。分かった結果から考えたことを考察し、自分の言葉でまとめ、伝え合い考えを深める学習を展開する。	体育	振り返りを取り入れることで、自らの課題を把握し、課題に合った練習の場を選んだり、工夫したりできるようにし、主体的に運動に取り組めるようにする。
生活	異学年交流や多摩川、郷土の森公園など地域の自然を生かした学習活動を多く取り入れて、特色ある指導を充実する。	外国語	聞くことと話すことの言語活動や外国の文化や習慣に触れることを通して、外国語によるコミュニケーションに親しみをもって取り組めるようにする。

令和5年度府中市立矢崎小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

（2）児童用タブレット端末の活用【市共通】

- ◎個別の課題に取り組む場面でドリル学習や調べ学習の一助としてタブレットを活用する。
- ◎資料提示の場面で課題を見出したり気付いたことを確認したりする学習ツールとして活用する。
- ◎作品の交流・鑑賞や話し合い・意見交換の場面で複数で共有し思考を深める活動に結び付け昇華させるように活用する。
 - ・タブレットに資料を保存して読む
 - ・web ジオボードの活用
 - ・写真を提示したり、簡単な文章を入力したりするなどして、発表ツールとして使用。
 - ・追っかけ再生で自分の動きを見る。動画再生を通して技術向上の自力解決に向かう。
 - ・課題を教科書・資料集で調べて、スライドにまとめて共有し合う。共同編集で協働学習も可能。